

【浄化槽設置工事提出写真例】※

※郡山市浄化槽設置整備事業補助申請手引き 別紙「工事写真例」より

- ・1工程につき複数枚になる場合あり。
- ・写真ごとに日付を記載してください。

1. 着工前



<撮影のポイント>

・浄化槽設備士の顔、工事名黒板、浄化槽工事業者届出済証が判読できること。

・周辺状況（地面、家屋）がわかること。

※アップと全体がわかるように2枚撮影してください。

※下記は省令第9上に定める別記様式第9号（浄化槽工事業者登録票は別記様式第8号）

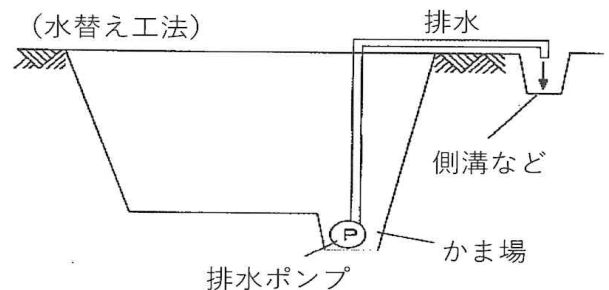
浄化槽工事業者届出済票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
届出番号	知事(届一)第 号
届出年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

2. 掘削状況



<撮影のポイント>

・湧水が出たときは、適正な排水処理を行うこと。対応状況がわかるようにポンプやホースも撮影してください。



3. 底付完了



(環境省ウェブサイトから抜粋)

<撮影のポイント>

・安全のため適正に土留めを行うこと。

※土留めをしないうちに計測等を行わない。

※土留めは隙間のないように行う。

・幅、長さ、深さをスタッフ等で計測すること。

※高さについては、その根拠がわかるように黒板に記載する。(碎石、捨てコンクリート、底板コンクリート、浄化槽等の高さ)

4. 基礎転圧状況



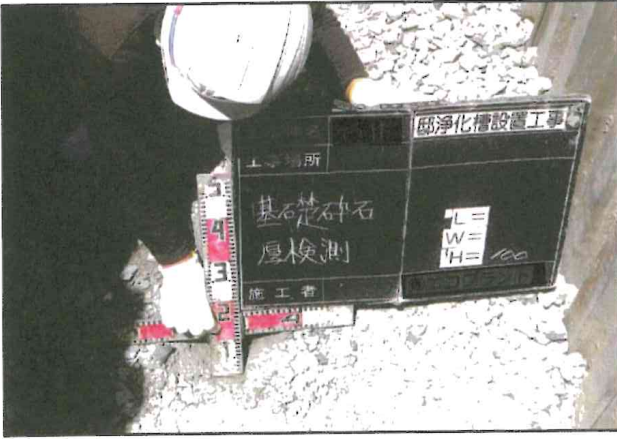
<撮影のポイント>

(参考)

碎石		100 mm以上
捨てコンクリート		50 mm以上
鉄筋 コンクリート	配筋	D10@200 mm
	コンクリート厚	100 mm以上

※基礎等の仕様は浄化槽メーカーの施工要領書に準ずる。

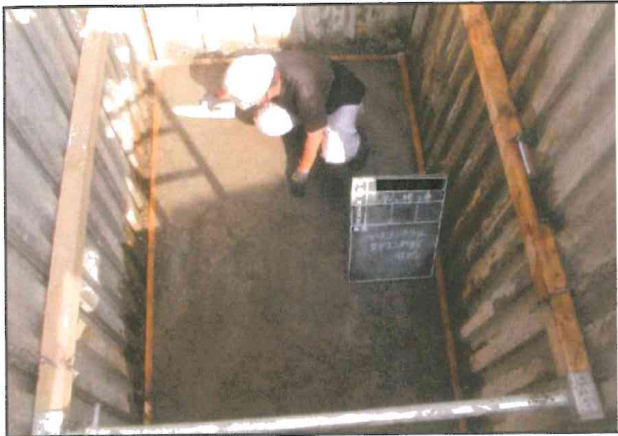
5. 基礎碎石厚み



<撮影のポイント>

・基礎碎石の厚みを深さの分かるスケールとともに写す。※湧水が出たときは、適正な排水処理を行うこと。

6. 捨てコン打設状況



<撮影のポイント>

・既成底板コンクリート（プレキャストコンクリート板）を使用する場合は、捨てコンの代わりに敷モルタルを使用してもよい。

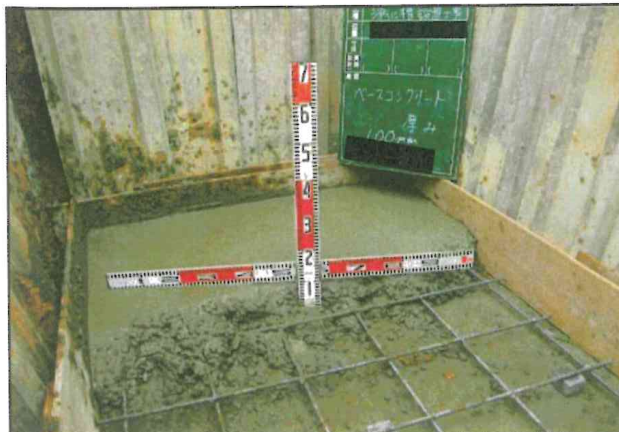
7. 底盤型枠・配筋寸法



<撮影のポイント>

・底盤型枠及び配筋の状況を写したもの。
・捨てコン打設と底盤コンクリート施工は同日には行わないこと。
・既成底板コンクリート（プレキャストコンクリート板）を使用する場合は、JIS適合性認証書、領収書もしくは納品書の写しを添付すること。

8. 底盤コンクリート打設



<撮影のポイント>

・コンクリートの養生には十分な期間をとること。
※泥水等でコンクリートが見えないことがないようにすること。

9. 底盤コンクリート完了



<撮影のポイント>

- ・コンクリートの幅、長さ、厚みを計測。
- ・スケール全体が判読できるよう写す。
- ・コンクリートの養生には十分な期間をとること。

※泥水等でコンクリートが見えないことがないようにすること。

10. 支柱配筋（駐車場の場合）



<撮影のポイント>

- ・駐車場対応の場合、支柱工事を行うなど各メーカーの施工要領書に従って、適切な施工を行うこと。

11. 浄化槽搬入



<撮影のポイント>

- ・浄化槽の型式が写るようにセット前に地上で撮影。

12. 浄化槽セット



1 3. 浄化槽法定表示



<撮影のポイント>

- ・ 浄化槽の法定表示の製造番号及び型式がわかるように撮影。

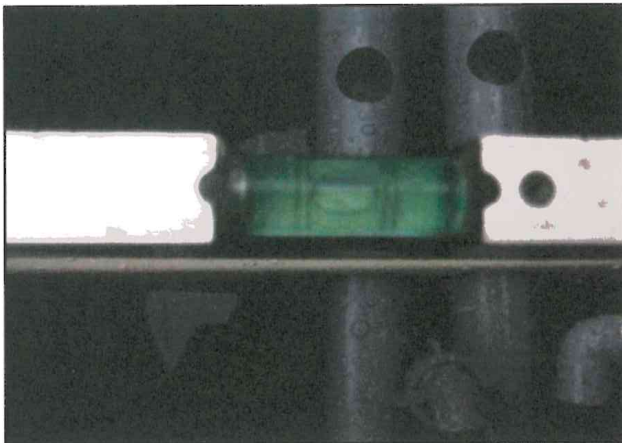
1 4. 浄化槽水平確認



<撮影のポイント>

- ・ 浄化槽設備士が正面を向き、浄化槽工事業者届出済証と工事名黒板を持って撮影。
- ・ 水準器等で水平を確認している様子を写したもの。
- ・ 浄化槽設備士の顔、工事名黒板、浄化槽工事業者届出済証、水準器の水泡がはっきりと確認できること。
- ・ ※アップと全体がわかるように2枚撮影してください。

(アップ写真)



1 5. 水張り



<撮影のポイント>

- ・ 浄化槽設備士が正面を向き、工事名黒板を持って撮影。ホース等で槽内に水を入れている状況がわかるように写すこと。

16. 埋め戻し・水じめ



<撮影のポイント>

- ・槽内に土砂が入らないようにマンホールふたにシート等で覆いをし、流入管、放流管接続口にはキャップをする。
- ・埋め戻しには石などの混入していない良質の土砂等を使用する。

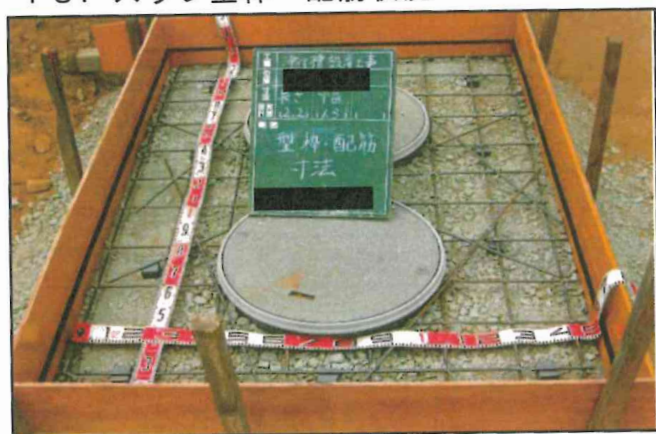
17. 転圧状況



<撮影のポイント>

水締めの日と同じ日にしないこと。

18. スラブ型枠・配筋状況



<撮影のポイント>

- ・スラブ型枠及び配筋の状況を写したもの。
(ダイヤ筋)
(参考)

スラブ	配筋	D10@200mm
	コンクリート厚	100mm

※スラブ仕様は浄化槽メーカーの施工要領書に準ずる。

19. 上部スラブ打設



20. 上部スラブ完了



<撮影のポイント>

- ・幅、長さ、厚みを計測。
- ・厚みについては、コンクリートの厚みが見える角度で撮ること。
- ・幅、長さ、厚みを黒板もしくは欄外に記載し、わかるようにすること。

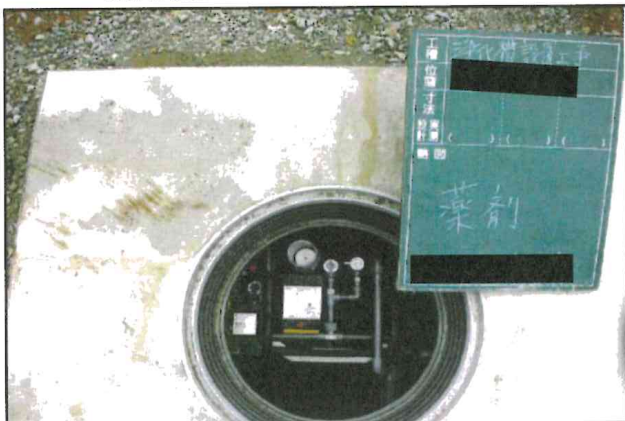
21. かさ上げ高さ確認



<撮影のポイント>

- ・下端からマンホールまでの距離をスケールとともに写す。(かさ上げ無しでも必要) 300mm以内

22. 薬剤投入



<撮影のポイント>

- ・薬筒のフタを開けるなど薬剤が実際に入っている様子が分かるもの。

23. ブロワー



<撮影のポイント>

- ・ブロワーをアップで撮影。

24. 工事完了



<撮影のポイント>

- ・浄化槽完了とは別に、建物の外観が分かる写真も撮影してください。
(写真が2枚必要です。)

25. 放流先



<撮影のポイント>

- ・放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流の恐れがないこと。
- ・放流先の側溝に土やごみがなく、流水が保たれているか。
- ・放流配管が側溝に沿ってカットされているか。

単独処理浄化槽または汲み取り便槽の撤去工事写真

1. 撤去前



<撮影のポイント>

- ・単独処理浄化槽または汲み取り便槽撤去前の状況を写したものの。

2. 撤去状況



<撮影のポイント>

- ・撤去作業中の状況を写したものの。

3. 埋設物撤去完了



<撮影のポイント>

- ・地中に何も残っていないことがわかるように写すこと。

4. 産業廃棄物



<撮影のポイント>

- ・撤去した埋設物を写したものの。
- ・撤去した産業廃棄物（廃プラスチック類、コンクリートがら等）は適切に処理すること。

5. 完了

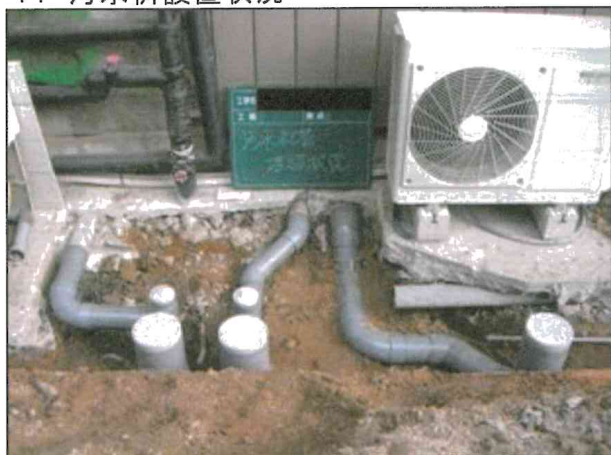


<撮影のポイント>

- ・埋め戻し後、整地した場所を撤去前と同じ角度から写したもの。
(埋設物を撤去した場所に合併処理浄化槽を設置した場合も必要。)

宅内配管工事写真（配管補助を使う場合）

1. 汚水桧設置状況



<撮影のポイント>

- ・各水廻りや屈曲点毎に設置した汚水桧設置工事状況を写したものの。

2. 配管敷設状況



<撮影のポイント>

- ・宅内配管敷設状況を写したものの。



3. 完了



<撮影のポイント>

- ・復旧状況が分かるように写すこと。